

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ザルカ県支援物資保存倉庫機材整備計画」贈与契約書署名式典

2022年10月23日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「ザルカ県支援物資保存倉庫機材整備計画」のための41,055米ドルの贈与契約署名式典が、ヨルダン・ハーシミーヤ慈善団体が所有するアル・ガバーウィ倉庫（ザルカ市）で実施されました。

本計画は、人道支援におけるロジスティック部門のエキスパートとして、これまで日本を含む累計41か国に救援・人道支援物資輸送を実施した実績のある同団体に対し、支援物資の荷役・保管のための機材（フォークリフト、ジャッキ、ラック棚、冷蔵庫）を供与し、同団体最大の支援物資保管施設であるアル・ガバーウィ倉庫の荷役作業の効率化及び物資保管量の増加を図るものです。本案件実施により、年間約2万3千個の支援物資の保管・輸送が可能になり、約9万5千名の難民を含む貧困層が新たに支援物資の提供を受けることが期待されています。

同式典では、根津臨時代理大使及びフセイン・アルシェブリ同団体事務局長が贈与契約書に署名し、式典出席者からは日本の支援に対し、感謝の言葉が述べられました。署名式後、根津臨時代理大使は同倉庫及び平成28年度草の根無償により同倉庫に供与された機材を視察し、団体の活動について説明を受けました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計154件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

